

医学教育と社会学教育WG主催シンポジウム

第49回日本保健医療社会学会大会

# 医学教育においてなぜ社会学を 学ぶ必要があるのか

東京都立大学

2023年5月28日

文責 種田博之  
産業医科大学

# 1. シンポジウムの目的

## (1) 経緯

2016年度版「医学教育モデル・コアカリキュラム」に医療社会学が組み込まれた。

2016年度版：「B-4医療に関連のある社会科学領域」

2022年度版：「GE-04：社会の視点とアプローチ」

⇒「医学教育モデル・コアカリキュラム」については参考文献参照のこと。

日本社会学会会員から医学教育における社会学教育のあり方を検討して欲しいとの要望を受け、2018年に日本社会学会社会学教育委員会のもとに「専門教育と社会学教育WG」が設置され検討に入った。

2020年11月、日本社会学会大会にて社会学教育委員会企画セッションが開かれ、その成果が報告された。これをもって、日本社会学会による検討はいったん終了となった。

報告書として、『社会学は医学専門教育カリキュラム改革にいかにかコミットできるのか 社会学教育委員会(2019~2021年)報告書』(2021年10月)が、日本社会学会のサイトにアップロードされている(日本社会学会社会学教育委員会編2021)。

その後は専門学会である日本保健医療社会学会で検討するのが望ましいということになった。日本保健医療社会学会内に「医学教育と社会学教育WG」が設置され、2021年4月から医学教育における社会学教育のあり方について検討に入った。

WGに医療系大学に勤めていた・いる研究者が招集された。その後、医師であり社会学に関心のある研究者をWGのメンバーに追加招集した。

メンバーの問題意識が異なり、WGとして何を論点として設定するのかということ自体で侃々諤々と意見をたたかわせることになった。

論点として、例えば、「誰に資するためのWGなのか?」、「地域医療に資する社会学とは?」、「医療者(医師)がなにゆえに社会学が必要であると考えているのか?」、「カリキュラムのあり方」など、いろいろと挙げた。

日本社会学会と日本保健医療社会学会では必ずしも会員構成は同じではなく、「そもそも論」——なぜ社会学を学ぶ必要があるのか——を保健医療社会学会として確認する必要があるのではないかということになった。こうして、WGでの検討対象を医療者のなかでもとくに医師に限定をして、「そもそも論」を論点として設定することになった。

本シンポジウムはその(中間)成果である。

## (2) 目的

医学教育における社会学教育ということを考えるためには、「なぜ(why)」社会学を学ぶ必要があるのかという「理由(意義)」の検討が重要であると思われる。

医師が必要と考える社会学の知とは何か、社会学者が医師に持っておいてもらいたいと考える社会学の知とは何か、そしてそれらはいかなる関係なのかといったことなどを考えてみたい。

この企画意図から、コアカリの改訂に関わってきた医師の錦織宏氏、地域医療に携わり医師の死生観についての社会学的研究に取り組んできた医師の井口真紀子氏、本WGメンバーで医師研究をおこなってきた社会学者の鷹田佳典からの話題提供をおこなっていただく。

## 参考文献

日本社会学会社会学教育委員会編、2021、『社会学は医学  
専門教育カリキュラム改革にいかにかコミットできるのか 社  
会学教育委員会(2019～2021年)報告書』、<https://jss-sociology.org/wp/wp-content/uploads/2021/11/113f5fd28d56dba4d21124dfcd357237.pdf>

モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会『医  
学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版』、[https://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/shingi/toushin/\\_icsFiles/afieldfile/2017/06/28/1383961\\_01.pdf](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2017/06/28/1383961_01.pdf)

モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会『医  
学教育モデル・コア・カリキュラム 令和4年度改訂版』、[https://www.mext.go.jp/content/20230207-mxt\\_igaku-000026049\\_00001.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20230207-mxt_igaku-000026049_00001.pdf)

※上記URLの取得日は2023年5月23日である。

# 第1期(2021年4月～2023年6月)ワーキング・グループ

## メンバー(50音順)

天田城介(中央大学)  
檜田美雄(摂南大学)  
三部倫子(奈良女子大学)  
孫大輔(鳥取大学)  
鷹田佳典(日本赤十字看護大学)  
◎種田博之(産業医科大学)  
本郷正武(桃山学院大学)  
吉田澄恵(東京医療保健大学)

◎座長(座長はWGメンバーの互選による)

## 主な活動記録

2021年04月 第1回会議  
2021年12月 第2回会議  
2022年03月 第3回会議  
2022年07月 第4回会議  
2022年11月 第5回会議  
2023年03月 第6回会議  
2023年05月 第49回大会にてWG企画のシンポ開催  
2023年06月 第7回会議

※会議はオンラインで開催